

花の木古墳群・花の木遺跡発掘だより

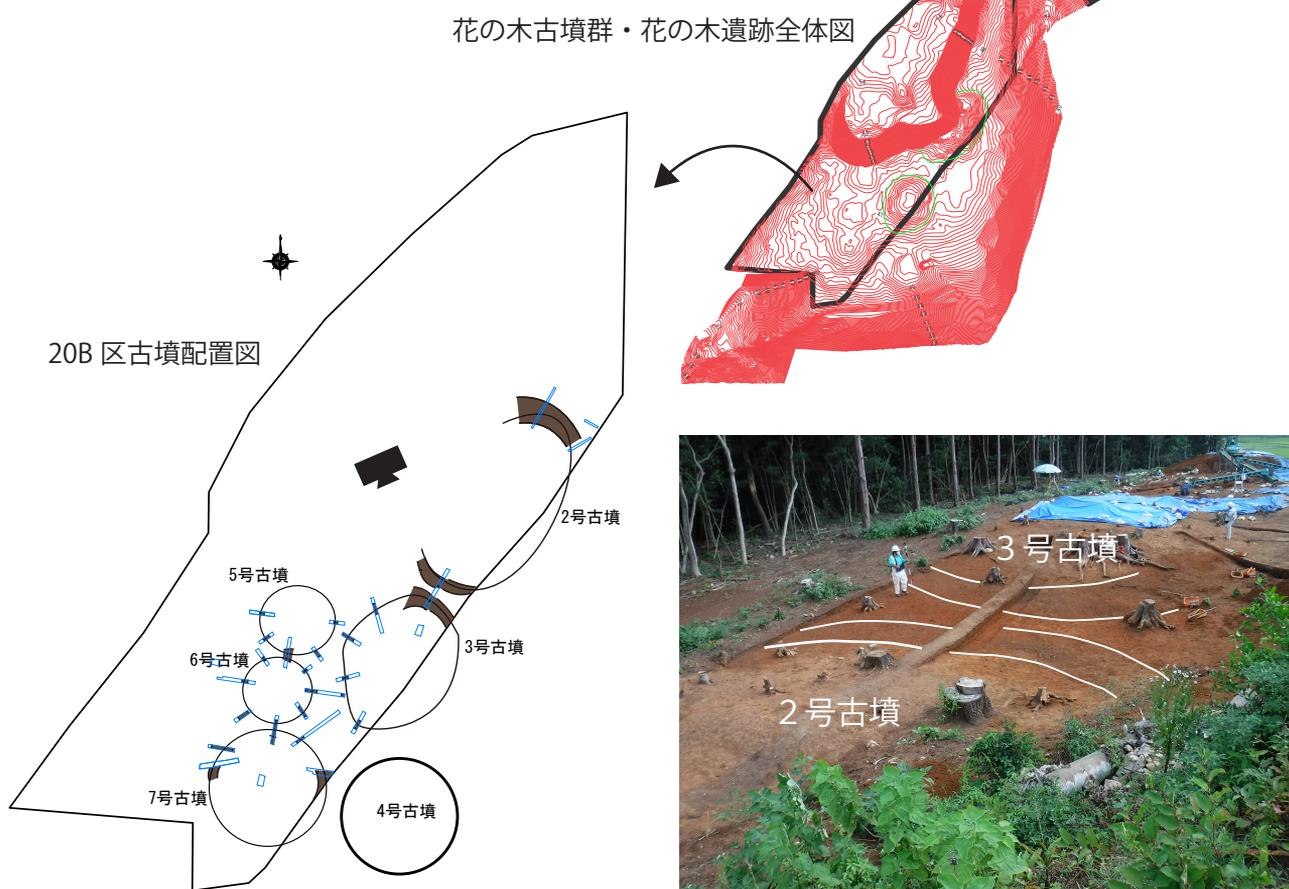
No.5

◎古墳群の調査を開始しました

8月から古墳群を覆っている土（表土）の除去に着手しました。現在は古墳の墳丘をめぐる溝（周溝）を探すための掘削作業を進めています。

調査区内では5基の古墳が確認されていて、その内、2号古墳は昭和43年に発掘調査が行われています。今回は、2号古墳の再調査も含めて、未調査のその他の古墳を発掘調査します。

古墳群の様子は11月3日（文化の日）に地元説明会を開催しますので、ぜひ現地をご覧ください。



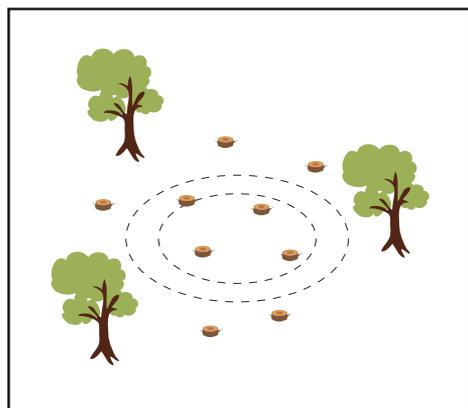
2号古墳・3号古墳周溝検出状況

人が写っています。大きさが分かりますか？

◎古墳の造り方

花の木古墳群が属する古墳時代前半の小規模古墳は、被葬者1人のために塚（古墳）が1基造られていて、当時の有力者のお墓と考えられています。

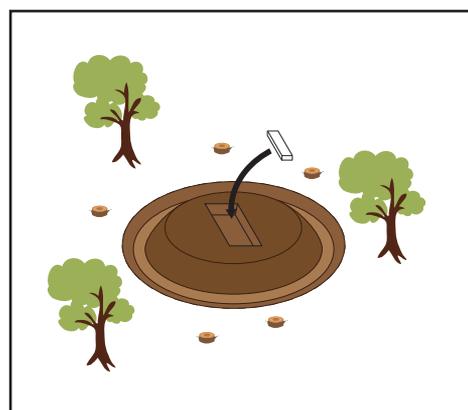
このような古墳はどのように造られていたのか解説します。



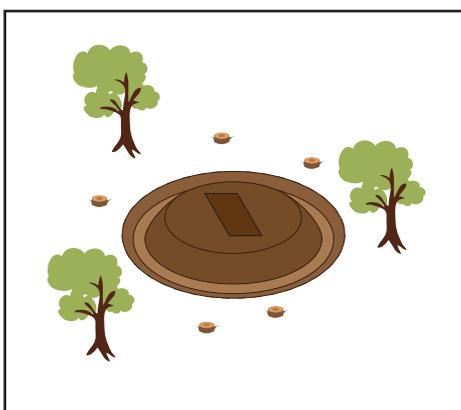
①山林を切り開いて古墳を作る場所を決めます。



②周囲に溝を掘って、その土を中心に盛り上げて墳丘を造ります。



③墳丘に穴を掘って、お棺を納めて被葬者を埋葬します。



④お棺を入れた穴を埋め戻したら古墳の完成。

お棺には鉄製の武器や首飾りなどが入れられることが多く、昭和43年の2号古墳の調査では鉄剣、勾玉、管玉が出土しています。

今回新たに調査する古墳からは何が出土するのか楽しみです。

～．．．．．～発掘調査だより No.5～．．．．．

委託者：愛知県埋蔵文化財センター TEL：0567-67-4163（担当：早野、社本）

ホームページ <http://www.maibun.com/>

受託者：安西工業株式会社

名古屋支店 TEL：052-769-6500

現場代理人 TEL：090-3704-3565（中谷）